

# 令和3年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙 「生活習慣や学習習慣に関する調査」について 全国と比較して差異が顕著な項目

札幌市立定山溪中学校

※肯定的な回答(「1 当てはまる」「2 どちらかといえば当てはまる」)の%(ポイント)を合計して、肯定的な回答が多いものについて、本校と全国で比較し、差異が概ね25ポイント以上の項目を、差が大きい順に並べています。

## 全国より肯定的な回答が多いもの

番号	質問事項	本校	全国	差
1	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	100.0	48.4	51.6
2	英語の勉強は好きですか	100.0	56.7	43.3
3	数学の勉強は好きですか	100.0	59.1	40.9
4	国語の勉強は好きですか	100.0	60.8	39.2
5	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問していますか	100.0	61.3	38.7
6	1, 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	100.0	67.7	32.3
7	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	100.0	69.8	30.2
8	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	100.0	70.2	29.8
9	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	83.4	55.4	28.0
10	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	100.0	73.9	26.1
11	1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	100.0	74.3	25.7
12	数学の授業の内容はよくわかりますか	100.0	74.6	25.4
13	自分には、よいところがあると思いますか	100.0	76.2	23.8

3年生の調査実施人数が6名であった。上記も含めて31項目において肯定的な回答が100%になっており、生徒にとって本校の教育活動が充実したものになっていると考えられる。

「英語・数学・国語の勉強が好きである」「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて調べたことを発表するなどの学習活動に取り組む」「自分にはよいところがあると思う」など、すべての教育活動において肯定的な回答が高い割合を占めている。学級集団に対する帰属感や自己有用感が高いことがうかがえる。今後は学校だけでなく、広く社会に目を向けて自分自身を高めていくことにつなげていきたい。

※肯定的な回答(「1 当てはまる」「2 どちらかといえば当てはまる」)の%(ポイント)を合計して、肯定的な回答が少ないものについて、本校と全国で比較し、差異が7ポイント以上の項目を、差が大きい順に並べています。

### 全国より肯定的な回答が少ないもの

番号	質問事項	本校	全国	差
1	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	50.0	74.6	-24.6
2	将来の夢や目標を持っていますか	50.0	68.6	-18.6
3	あなたの家には、およそどのくらい本がありますか(一般の雑誌, 新聞, 教科書は除く)	16.7	34.4	-17.7
4	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	50.0	65.9	-15.9
5	あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか	83.3	96.3	-13.0
6	新聞を読んでいますか	0.0	10.4	-10.4
7	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	33.4	43.8	-10.4
8	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	83.4	93.2	-9.8
9	朝食を毎日食べていますか	83.4	92.8	-9.4
10	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	83.4	92.7	-9.3
11	普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	0.0	7.0	-7.0

数学科において、学習が好きであると回答しているのが全国平均より40ポイント高い割合を占めたのに対し、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」で、肯定的な回答が低くなっている。今後は数学科だけでなく、他の教科も相互に関わり合いながら、粘り強い取組と自らの学習を調整しようとする力を育てていく必要がある。

「将来の夢や希望を持っていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」でも、肯定的な回答が低くなっている。現在は少人数の限られた人間関係の中で過ごしているが、今後は卒業後の将来を見据え、失敗を恐れず広く社会に目を向けさせるように働きかけていく。

また朝食を食べる習慣、規則的な起床時間などに課題があるため、引き続き御家庭での御協力をお願いしたい。